

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立益田清風高等学校 事業実施報告書③

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 IV 】
2 実施対象者	益田清風高等学校 生徒会 下呂特別支援学校生徒（20名）
3 展開の形式	（1） 学校における活動 ①教科名（ ） ②行事名（ 文化祭 オープニングステージ ） ③その他（ ） （2） 地域における活動 ①イベント名（ ） ②その他（ ）
4 目標 （ねらい）	地域における学校（生徒）間交流を図るなかで相互理解を深め、多様性を尊重する態度を育成する。 地域の郷土文化に触れることで、地域理解の一助とする。
5 取組内容	下呂特別支援学校とコラボレーションによる文化祭でのオープニング太鼓演奏 経緯 今年度の文化祭テーマは「LINK ～ 私たちの未来へ～」にもとづき、下呂市の未来を担う若者同士、下呂特別支援学校高等部の生徒と合同で、オープニングを行うことを企画した。 ① 事前打ち合わせ（8月30日） 本校生徒会役員が下呂特別支援学校へ出向き、文化祭オープニングの流れを説明し、合同でリハーサルを行った。 リハーサル前にお互いの紹介、お互いこれまでの練習の過程の報告を行い、演奏の成功を誓い合った。
	 

	<p>② 文化祭当日</p> <p>朝、下呂特別支援学校の生徒を出迎え、太鼓のセッティングを一緒におこない、演奏を行った。両校それぞれの演奏であったがオープニング終了の際は両校の生徒が手を繋ぎ挨拶をして、下呂市の未来を担う若者同士、絆を深めることができた。</p> <p>その後、下呂特別支援学校の生徒は本校の文化祭を見学した。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>下呂特別支援学校の生徒の太鼓のバチで出来た豆だらけの手を見た本校の生徒が、私たち以上に練習をしてきてくれたことに感謝すると同時に、太鼓演奏という同じ目標を実現することにより、その難しさや、感動を共有することができ、両校の生徒が成長することができた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>両校の日課（放課後の時間）が異なるため、時間を併せる工夫を行ったが、できる限り生徒同士の時間を多くとり、共同で作り上げる工夫を行った。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>学校間の日課の調整が難しかった。</p>
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<p>来年度も地域に根付く学校同志のイベントをさらに増やしていきたい。</p>